

DAITO 廃プラ対応の焼却炉 集じん力高めた2機種

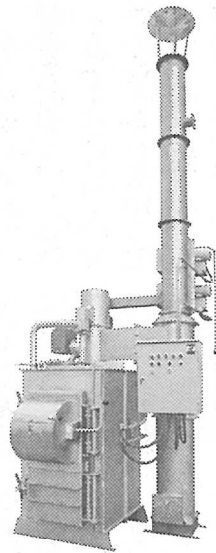
廃棄物焼却炉の製造販売などを行うDAITO(株)(本社・瀬戸市、井上滋樹社長)はこのほど、廃プラスチックに対応する耐火材式の高性能タイプの焼却炉2機種を同時発売した。

発売したのは、大型投入口を持つLSZモデル(煙突高さ5380mm、重量1640kg、本体税抜価格338万円)と、LSIIモデル(同5380mm、同1650kg、同328万円)。

新機種は、新たに開発した「Wカットサイクロン」を搭載したことで「最上級の消煙・集じん能力」を備えた。

加えて炉内に燃焼用の温かい空気を送り込む新方式のホットエアにより、燃焼効率も格段に向上したとアピールする。

「LSZモデル」



同社によると、どちら

も設置に際して行政

への届け出は不要ながら、法規制による焼却炉の構造基準に適合し、行政から指導があった場合でも同社が責任を負う「構造基準適合保証」が付く。なお、自治体の条例によっては一部届け出が必要な場

合もある。また、同機種を導入するにあたり、中小企業等経営強化法の計画認定を国から受けることで、中小企業経営強化税制の優遇適用も可能だとしている。

DAITO(株) ☎0

120・21・313

6